

# 拓水

〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1 三浦漁協

## 8月号

No. 191

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県水産改良普及協会  
神戸市兵庫区新在家町123  
発行人 三浦清太郎  
TEL 671-6685・681-6954  
編集 拓水編集委員会  
発行日 毎月30日  
一部10円  
昭和32年10月18日  
第3種郵便物認可

PCB公害対策  
漁協組合長会議

## 汚染源の根絶をはかれ!! 漁民の怒りその極に達す

七月十七日、PCBによる魚類汚染が公表され、本県沿岸漁業は大きな打撃を受けているが、この問題について兵庫県漁業協同組合長会議(神戸市三浦区)は去る七月二十日、神戸市兵庫区の水産会館で「PCB公害対策兵庫県漁協組合長会議」を緊急開催した。

会議は、公害対策委員のPCB問題取組経過の報告にはじまり、各海区代表からPCB公害による影響の実態表明(三浦区八瀬、あつた、組合長大会への切替え動議があり即ち「兵庫県漁協組合長大会」の開催となった。大会では「PCB汚染の進展防止と漁獲環境保全のため汚染源の根絶」「消費者に漁獲物の安全供給出来るよう早急な汚染源の根絶」など八項目にわたる決議を採択し、一致で可決採択し関係方面、関係企業に強力なPCB汚染根絶運動を展開することになった。

近代合成化学の勝利ともいえるPCBの登場は経済高度成長に大きく貢献しその優れた性質は多方面に活用されてきた。しかし昭和四十三年福井県で起きた「カネミ油症事件」によりその特異な毒性と極めて消滅しがたい特質から、今日を待たず事態を招来したものである。

PCB汚染について本県では、県漁業公害対策委員が主軸となって早くから取り組んでいたが問題の性格から直ちに魚類汚染、消費減退を招く恐れもありその活動は公けられなかった。しかし五月十三日衆議院公害対策環境保全特別委員PCB汚染調査以来、一連の汚染状況が公表されて、漁業者は大きなショックを受けると共に、明日を知らぬ不安におびえ、同委員会では漁業者が現状を正しく認識させ今後の運動推進に強力な組織体制で臨むよう今回の会議召集となり表面化されたものである。

## PCB公害対策 兵庫漁協組合長大会 決議

近時、P.C.C.B(ポリ塩化ビフェニール)による食品汚染がカネミ油症事件を契機として、大々的な健康問題となつて登場し、その特異な毒性と極めて消滅し難い特質から一般国民に大きな恐怖心を与えている。P.C.C.Bの人の健康に及ぼす影響が、明確に究明されないうちに、一部部分の地区・検体の汚染状態が公表され、マスコミのセンセーショナルな取扱いと相俟って、魚貝類の消費を激減せしめ沿岸の漁業全般に致命的打撃を与えつつあります。

特にP.C.C.B生産工場のある高砂地区に於いては、去る五月十三日衆議院公害対策・環境保全特別委員の現地調査報告から、高砂地区の汚染状況が公表され、西瀬湾へドロの高濃度汚染の発表もあって、その汚染源と推定される漁場砂地区での漁獲物水揚価格が暴落し、関係漁民は経済的圧迫とともに、明日の生活目途も立たない実情である。

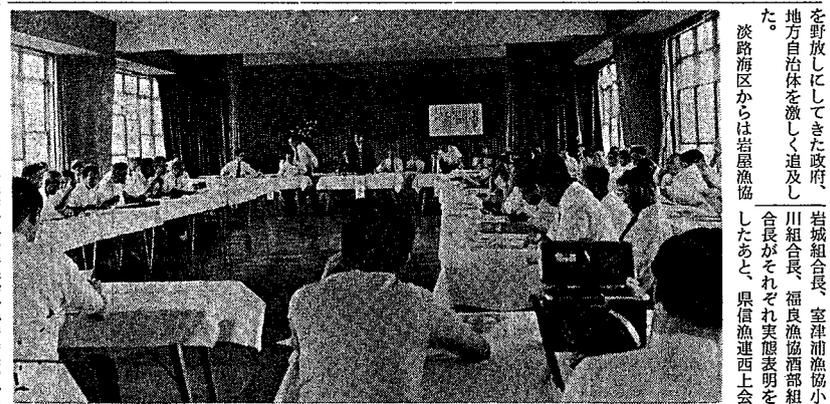
決意を表明、続いて三浦県までの県情勢を説明した。漁協組合長が、「過去公害問題で再三再四苦しみられてきた漁民が今又PCB汚染により破壊的打撃を受け出れば県が責任をもって補償する」と約した。

議長は森脇漁協・森吉一氏が選任されたのち続いて公害委員会のPCB公害対策決議を採択した。

岩城組合長、室津浦漁協小川組合長、福良漁協酒部組合長がそれぞれ実態表明をしたあと、県漁連連上会を野放しにしてきた政府、地方自治体を激しく追及し、淡路海区からは岩屋漁協を代表して林崎漁協漁協組合長、網干漁協清水組合長が意見表明した。大々的かつ高砂漁協河村組合長は「PCBは人がつくったものであり、高度経済成長のヒズミの結果である。我々漁業者は何ら責任のあるものでない。すなわち、地方自治体の責任において解決すべきだ」と生産工場に因る企業の責任ないしは、地方自治体における政治行政の責任に帰一されるべきであり、我々には強力な補償経済措置が講ぜられねばならない」との具体的な対策について早急且つ万全の措置が講ぜられることを強く要望し、本大会の名において決議した。

一、因果関係の究明並びに、因結を固め相協調し運動と水産資源を守りぬく漁業を強力に推進し生存権を確保するためここに兵庫県漁業協同組合長大会を開催した。

二、既にP.C.C.Bによる汚染されている漁場において漁業者が同様の懸念もなく操業が可能な漁獲物を安心して消費



岩城組合長、室津浦漁協小川組合長、福良漁協酒部組合長がそれぞれ実態表明をしたあと、県漁連連上会を野放しにしてきた政府、地方自治体を激しく追及し、淡路海区からは岩屋漁協を代表して林崎漁協漁協組合長、網干漁協清水組合長が意見表明した。大々的かつ高砂漁協河村組合長は「PCBは人がつくったものであり、高度経済成長のヒズミの結果である。我々漁業者は何ら責任のあるものでない。すなわち、地方自治体の責任において解決すべきだ」と生産工場に因る企業の責任ないしは、地方自治体における政治行政の責任に帰一されるべきであり、我々には強力な補償経済措置が講ぜられねばならない」との具体的な対策について早急且つ万全の措置が講ぜられることを強く要望し、本大会の名において決議した。

一、因果関係の究明並びに、因結を固め相協調し運動と水産資源を守りぬく漁業を強力に推進し生存権を確保するためここに兵庫県漁業協同組合長大会を開催した。

二、既にP.C.C.Bによる汚染されている漁場において漁業者が同様の懸念もなく操業が可能な漁獲物を安心して消費

三、P.C.C.B汚染の影響による価格暴落等漁業の被害を軽減し、今後の操業停止又は休業の止むべきに至った関係漁業者は、もろもろ、操業を継続しても収入激減を懸念し、地方自治体あるいは関係企業で負担すべきこととは当然の義務とするものである。

四、漁業者が現在負担している膨大な債務について、その支払い延期方について必要な措置をとると共に、その利息についても同様に、現に漁協あるいは養殖業者等が所有している

五、漁業者が現在負担している膨大な債務について、その支払い延期方について必要な措置をとると共に、その利息についても同様に、現に漁協あるいは養殖業者等が所有している

六、現に漁協あるいは養殖業者等が所有している

七、ハマチ養殖業については、なお、養殖経営を継続しうる前提において餌料買換えのための資金融資を前号に準じて措置された。

八、漁業者がノリ養殖等への漁業内転換を実施する場合の資金調達ならびに漁場の確保について措置された。

右決議す。

昭和四十七年七月二十日  
P.C.C.B公害対策  
兵庫県漁業協同  
組合長大会

### 魚類乾燥の冷風乾燥機

＜新しい機構＞  
14時間で冷風完全乾燥 素晴らしい方式で業界をリード

## 藤木式魚類乾燥装置

乾燥品 イワシ、煮干、サバ、干干、イワシ丸干、タラ、サンマ、シシャモ、ニシン、珍味のり24時間、イカ30時間、コブ8時間 水イカ、味噌干、開き(25センチ物)7～8時間

（フジキ） 藤木産業株式会社  
本社 松山市山越町1丁目272 電話0899(22)2311  
営業所 松山市千舟町7丁目7 電話0899(45)3411



# 7月の漁況と海況(内海側)

## ●海況

3~4日播磨灘で実施した海洋観測結果によると全海域表層21.0~22.0℃台、中層19.0~20.0℃。底層では西部海域の一部で17.0℃台の低温域を認めた以外は19.0℃内外を示し、平年比較では北西部で各層共平年並、中央部南西部の底層でやや高目を示した以外は0.5~1.0℃低目に経過している。一方18~19日の大阪湾、紀伊水道北部の海洋観測では大阪湾北西部で表層23.0~24.0℃、中、底層22.0~23.0℃を示して1.0℃内外の高目、南部では表層23.0℃台、中層22.0℃、底層20.5℃内外を示してほぼ平年並、また紀伊水道北部では全域表層23.0℃内外、中層22.0℃、底層では西部22.0℃、中東部19.0~20.0℃台を示し平年比較で中、西部-1.0℃内外、東部-2.0~3.0℃で特に東部での低目が目立っている。一方塩分量も紀伊水道全域わたって表、中層28.3~32.5、底層30.1~33.0‰で前年より2.0~3.0‰低かん経過している。

## ●漁況(概況)

漁船漁業の最盛期を迎へ各海域においては小型底曳網が中心となりエビ類を主体としてカレイ類、タコ、イカ、アナゴなど、一本釣では明石瀬戸及び瀬戸内海周辺でスズキ、マルアジ、各沿岸部ではタコなど。延縄では大阪湾中部、鳴門周辺でアナゴを主体にしてカサゴ、カレイ、播磨灘東部ではベラ、淡路南部ではハモを主体にしてアコギ、アナゴ、タイなど。刺網では各地先でカレイ類、クルマエビ、イカ、キス、オコゼ、ベラ、アイナメなどとなっている。また本年も昨年に引き続きタチウオの来遊が顕著で現在淡路南部、大阪湾北部、播磨灘東部の各海域で曳網による好漁獲が続いている。しかし中甸に県が大阪湾播磨灘北部で漁獲される数魚種について発表したPCB(ポリ塩化ビフェニール)の汚染数値の影響によりイカナゴパッチ網漁は本年の不漁に加え操業短縮を行なったので大いなる減産となった。また汚染数値の高い魚種はもちろんのこと他の魚種についても一時的な価格の低落があったが現在では概ね回復している。

## ●各地

(注・以下は1日1隻の平均漁獲量は1kg当りの平均単価円、何隻は操業隻数)

**明石浦** 小型底曳タコ30キロ@550、小250、メイタカレイ6キロ@2,500、アナゴ5キロ@450、エビ7キロ@450、イイダコ15キロ@270、イカ4キロ@650、クルマエビ5キロ@2,500、80隻。スズキ一本釣5キロ内外@3,000~3,500 15隻。各山網マルアジ150~200尾(25~30キロ)@650、50隻。タチウオ300尾1尾30~50円、10隻。ブンチン溜イシカレイ20キロ@2,100、小1,400、タコ5キロ@550、5隻。各延縄アナゴ80~100キロ@550、7隻。カサゴ40~50キロ@900、7隻。ベラ10キロ@1,350、7隻。

**岩屋** 小型底曳エビ30キロ@1,500~800、小350、アナゴ4キロ@470、メイタカレイ2キロ@1,000、60隻。スズキ一本釣7~8キロ@2,400、7隻。マルアジ曳網(1人乗)120尾1尾60~75円、70隻。各延縄カサゴ10キロ@1,000、5隻。ベラ30キロ@600~650赤400~450、10隻。キス流網15~20キロ@650、7隻。タイ五智網6~7尾(自獲2~3キロ)@3,500~4,500、6隻。タコ並網50キロ@550、中450、5隻。

**由良** 小型底曳白サエビ20キロ@700、ハモ2キロ@2,500、キス@400、アナゴ10キロ@600、その他15キロ@150、60隻。刺網キス25キロ@450、アイナメ4キロ@800、カレイ8キロ@900、タコ7キロ@600、その他10キロ@500、25隻。各延縄ハモ30キロ@2,300、11隻。アコギ7キロ@2,200、タイ4キロ@2,800、8隻。各一本釣サハ30キロ@150、40隻。マルアジ7キロ@700、30隻。タコ6キロ@500、20隻。タチウオ曳網40キロ@150、30隻。突棒ワビ3キロ@1,000、サザエ10キロ@450、10隻。

**沼島** 小型底曳カワツ15キロ@850、小エビ20キロ@280、アナゴ5キロ@150、キス5キロ@260、エン10キロ@100、ハモ1キロ@1,300、シヤコ3キロ@75、テナガダコ8キロ@50、44隻。各一本釣エン50キロ@120、40隻。キス2キロ@650、青ベラ10キロ@550、20隻。タコ5キロ@450、小300、3隻。延縄ハモ10キロ@1,800、エン8キロ@110、3隻。刺網クルマエビ1キロ@3,500、エン5キロ@60、グチ20キロ@150、コチ2キロ@550、29隻。

**福良** 小型底曳カワツ20キロ@800、クルマエビ1キロ@3,000、小エビ30キロ@300、アナゴ、シヤコ、カレイなど5,000円、35隻。タチウオ曳網150~200キロ@100内外、130隻。ハモ延縄(上付70~80キロ)30キロ@2,500、7隻。タコ並網120キロ@450、3隻。八田網マルアジ300キロ@大400、小200、1統。

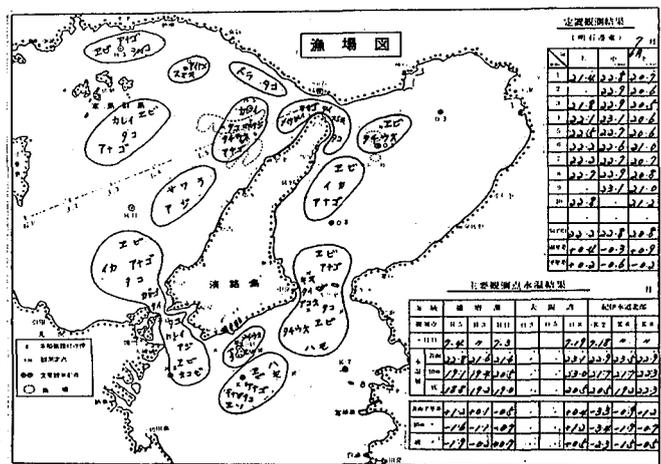
**丸山** 小型底曳エビ50~80キロ@110、10隻。タイ五智網15~20キロ@1,800、3隻。各延縄アナゴ40キロ@330、18隻。カサゴ35キロ@650、アコギ7キロ@1,200、15隻。刺網メイタカレイ4キロ@800、イカ3キロ@250、オコゼ7キロ@500、8隻。タコ並網60~100キロ@520、10隻。

## ●本月の特記事項

紀伊水道北部海域で操業しているハモ延縄漁が上旬~中旬にかけてかなりの好漁(1日1隻70~80キロ)がみられたが現在30キロ内外では昨年並となっているが、価格については昨年同様にK当り1,300円内外に較べ本年は2,300円内外と約2倍近い高値を示し水揚げ金は高水準を保っている。※大阪湾西北部、播磨灘東部で操業中の小型底曳網にクルマエビの入網が顕著で(1日1隻5キロ内外で例年はほとんど皆無)また淡路南部海域のタコ並網漁は前月に引き続き好漁が続いている。

## ●今後の見込み

前月号で予測したように本年のタチウオ来遊量は昨年に引き続き極めて多く、現在友ヶ島水道、沼島周辺及び上ノ瀬戸ノ瀬を中心とした大阪湾北西部。奥ノ瀬、室津ノ瀬を中心とした播磨灘東部の各海域に濃密な分布を示している。それらの魚体組成は肛門長で23.0~27.0cm、体重230~320gで主体が体重250~280gとなっている。今後の大阪湾、播磨灘でのタチウオ漁は紀伊水道から内海への魚群添加した内海滞留型の成長と相まって昨年に引続き豊漁が期待できるだろう。(水試岩井)



八月十四日厚生省食品衛生調査会は、P・C・B暫定基準を答申、魚介類の最大関心事である、私達の生活に密着しているP・C・Bについて、海洋魚のP・C・B検査結果も三〇P・P・Mと決まりました。ニース解説にもありましたことと、上記の数値は魚介類の基準を一〇P・P・Mとしながらも、国民の平均的魚介類摂取量

が海洋魚の三に對して内海魚の二に對してであるというところを考慮して、このたびの措置が国民の健康を守るために必要である以上、基準の設定は当然であると思われ、また、この基準値についても、私達の立場を相当考慮されたい結果であると考えます。

確かに、この基準設定によって消費者の魚に対する不安感がなくならないと期待するものであります。しかし、消費者、学者の両方は、必ずしもこのたびの基準をよしとしているわけではなく、むしろ内海魚の魚介類の基準が甘いのではないかというきびしい批判もあり、また、残念なことに、私達の働

が漁場は、上記の規制に該当する可能性が全くないとはいえないかもしれません。もしそうなら、漁業を営むことができなくなり、また、たとえそうであっても、消費者が既に大きなショックを受けている以上、魚介類全般の価格の低落が予想され、その影響ははかり知れないものと考えます。国は、P・C・Bの許容の規制策を発表しましたが、私達漁業者には何一つ具体的なものはありません。被害の状態が明らかになった時点で、必要に応じ漁業被害の救済措置を講ずるといっています。

以上のような背景の中で、「公害対策委員会」は、六月以降当局にわたって、六月以降等々具体的な対策の樹立と実行を強く要望し、要請してまいりました。要約しますと次のとおりです。

- ① 漁場の再生復旧
- ② 公害企業責任の追求と補償
- ③ 被害漁業者に対する生活の保証と現在負担している債務についての支払延期等必要な措置
- ④ 漁業内転換(たとえば、養殖)の融資その他必要な措置
- ⑤ 漁業の経営安定措置

これらの諸事項については七月二十日水産会館で開催された「P・C・B公害対策兵庫県漁業協同組合長大会」において決議されました。私達は漁場と水産資源を守りぬき生存権を確保するための運動を力強く推進することを誓ったのであります。私達がこのような主張を明らかにしたの根本は何でしょうか。このたびのP・C・B問題から生じてくるあらゆる事態は、私達漁業者にとっては何一つ責任のあるところで

戦後我が国工業の目ざましい発展はさまざまの公害をまきちらし国民の健康を私害として扱っています。特に私達の生活の場である瀬戸内海漁場は工場排水や都市下水更には、尿の海中投棄、流出油等によりその汚染は極度に進展してあることは今更申しあげるまでもありません。しかし先年カネミ油症事件を契機として大きくクロズアップされてきたP・C・B公害問題は本年に入つていよいよ私達の身近かに迫つて参り、我々漁業者の生活権を奪い去らんとしており、去る八月十四日国がP・C・Bの安全基準を設定したことを機に我々は決意を新たにしてP・C・Bを始めすべての汚水公害を排除して我々の生活権確保に向つて団結を固め非難達成に邁進しようではありませんか。

魚介類に対するP・C・Bの汚染が今後さらに進んでいくのではないかと、いう大きな不安も残されています。現に、七月十七日兵庫県が発表した本県内海海域における魚のP・C・B汚染度は、一部の漁場、漁種に相当高い数値が表わされており、県では引き続き大巾な総点検を行なっています。その結果が非常に心配されます。

特に国では、①P・C・B汚染のひどいとみられる海域や漁場を一斉点検し、汚染魚の精密調査の結果、三〇P・P・Mを超えた魚が検出された場合は、自主規制で漁獲禁止をする。②汚染のひどい魚種は定期的監視する。③流通段階で三〇P・P・Mを超えた魚がみつかった場合は、自主規制で販売禁止をする。④自主規制の強い措置を考えております。

以上のような背景の中で、「公害対策委員会」は、六月以降当局にわたって、六月以降等々具体的な対策の樹立と実行を強く要望し、要請してまいりました。要約しますと次のとおりです。

- ① 漁場の再生復旧
- ② 公害企業責任の追求と補償
- ③ 被害漁業者に対する生活の保証と現在負担している債務についての支払延期等必要な措置
- ④ 漁業内転換(たとえば、養殖)の融資その他必要な措置
- ⑤ 漁業の経営安定措置

これらの諸事項については七月二十日水産会館で開催された「P・C・B公害対策兵庫県漁業協同組合長大会」において決議されました。私達は漁場と水産資源を守りぬき生存権を確保するための運動を力強く推進することを誓ったのであります。私達がこのような主張を明らかにしたの根本は何でしょうか。このたびのP・C・B問題から生じてくるあらゆる事態は、私達漁業者にとっては何一つ責任のあるところで

はありせん。すべては過去の経済成長から生まれたヒズミの結果であり漁業者は全くの犠牲者でありませぬ。これは一にかけた関係企業の責任なしは国、地方自治体にゆだねる政治行政の責任に帰せられるべきであり、この結果に対して強力な補償救済措置が講ぜられなければならないと考えたものであります。本委員会も、今後さらに総力をあげて、発生する事態に対処してまいります。ご自分の漁漁を通じて、ご自分の体制をしっかりとつくりだすための調査や資料の提出を求めますがどうか万全のご協力をお願いいたします。私達は一層団結をかためてこの難関を乗り越えていこうではありませんか。

## ●漁運連公 対策委員会

# PCB安全基準 設定に際して

实用新案登録(903180号) 特殊ホーロー加工

## ニュー・スマートアップ

一特 長一

1. 煙と生臭い匂の出ない焼物器
2. 副熱熱で焼くので、裏返へさずに「コゲメ」が付き味は最高
3. 早く焼けるので燃料費は僅ですむしかも栄養価を損じない
4. 魚・肉・餅・野菜等を同時に焼いても匂いは移らない
5. 油が飛びちらないので、清潔で後始末がよい
6. モダンで一寸した「オープン」代りです

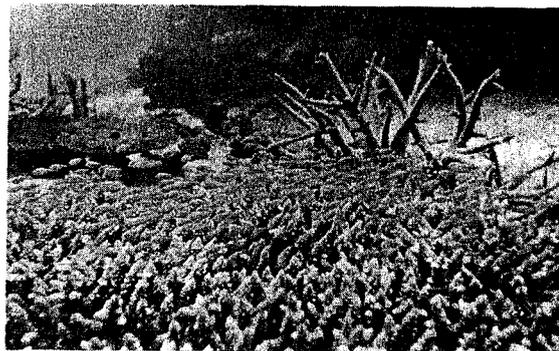
製造元 兵庫県水上市山南町 下海釜野在 焼物器工業

# 第10期兵庫県海区漁調委

## 両海区委員決る

去る八月二十五日兵庫県は第一〇期兵庫県海区漁業調整委員会委員を公表した。これによると瀬戸内海々区では公選委員九名、学識経験委員四名、公益代表委員二名の計十五名、又但馬海区では公選委員六名、学識経験委員三名、公益代表委員一名の合計一〇名からなっている。今後四ヶ年間にわたってその海区での漁業調整問題に取り組むことになった。特に昭和四十八年は漁業権の一斉切替えという大作業を控えており公害問題等の激化に伴う漁業内転業、拡大希望との調整がどうなるか注目されている。初会合は両海区とも八月三十日に行なわれ正副会長の選任について協議された。結果、内海々区では会長に山田岸松氏(神戸市西部漁協)、副会長に神頭宇市氏(岩見漁協)・再、但馬海区では、会長に西上重次氏(倉住町漁協)・再、副会長に岡本久五郎氏(居組漁協)・新がそれぞれ決定した。尚この度就任された委員は次のとおり(区分、氏名、年令、所属の順で表示)。

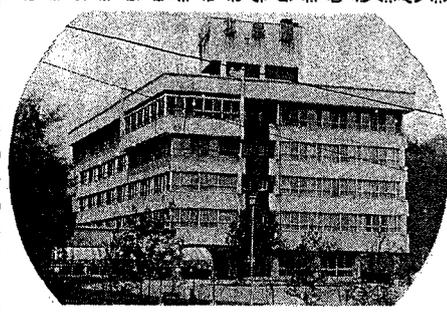
- | 瀬戸内海海区      |             | 但馬海区        |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 公選委員        | 学識経験委員      | 公選委員        | 学識経験委員       |
| 石上 賢信 (五七)  | 岩城 賢治 (四九)  | 清田 倅三 (四四)  | 津居山 漁協 (長)   |
| 一宮 勇助 (長)   | 大島 襄二 (五二)  | 浜坂 漁協 (長)   | 藤原 三四郎 (七四)  |
| 河野 数男 (六〇)  | 関西学院大教授     | 福本 藤太郎 (七六) | 柴山 港漁協 (長)   |
| 浅野 浦治 (六二)  | ○神頭 宇市 (六八) | 香住 町漁協 (長)  | ○岡本 久五郎 (七四) |
| 高砂 漁協 (長)   | 岩見 漁協 (長)   | 牧谷 保夫 (四三)  | 居組 漁協 (長)    |
| 小林 政太郎 (四七) | ○山田 岸松 (六二) | 作花 英治 (六八)  | 木本 善一 (五八)   |
| 坊勢 漁協 (長)   | 神戸市西部漁協 (長) | ○倉長 〇副会長    | 浜坂 町長        |
| 酒部 龍三 (四三)  | 公益代表委員      |             |              |
| 龍長 漁協 (長)   | 社 家 直美 (六四) |             |              |
| 網正 次郎 (五二)  | 洲本市議会議員     |             |              |
| 洲本 漁協 (長)   | 守 守 (五六)    |             |              |
|             | 姫路市農政局長     |             |              |



群やかなサンゴ礁にたわむれる小魚の群

# 龍宮城へなぜ潜るか

私が潜りに興味をもちだしたのはいつのころかさだかではない。が、今でも記憶しているのは小学校六年生の頃、アクアラングの発明者であるクストーの「没黙の世界の勇士」という本をよんでからではなかつたかと思う。それを何回となく読み、自分でアクアラングなるものを作り、姫路の夢前川でもぐったことがある。もちろん、小学生の知識で作れるわけがなく、あやうく、死ぬところであった。どんなものを作ったかは、笑われるので、ここにはかかない。それから後、本格的に潜水をおぼえた大学時代まで潜水の方は全然、緑がなかつた。しかし、才能はあつ



北海道(5) 北泉閣

理由である。(ちなみに私とを要する人は、このやすは、そうせうしいはきはらぎをたびたびえているせいなである。楽器でも音の大きなものはダメで、静かな音色のものがよい。ジャズのためにはまるでダメなのである。③潜る、非常に精神が安定するというところである。経験のある人はわかりかと思うが、非常なやすらぎが海底にはある。なげやすらぐかというところ、ある人いわせると、「人間は母の胎内にいる時は水の中にあるのである。それゆゑ、潜って水中にいることは母親の胎内にいるのと同じ気持ちになるのである」ということである。なげやすらぐかというところ、おちつくはずだ。身になったり、煮付になつたり、海にもぐる。

定山温泉 定山温泉 定山温泉 定山温泉

TEL 定山温泉 〇一三六五

所在地 北海道札幌市定山温泉五二二六

TEL 〇六六一三三 〇三三六八

交通 国鉄札幌駅前始発定山温泉バス豊羽山行乗車三登通(北泉閣前)下車 又は定山温泉 湯の町行乗車終下車徒歩一〇分 料金三三〇円。札幌駅前よりハイヤー、五〇〇円バス約一時間ハイヤー四十五分 客室三十九、会議室二、大広間二 娯楽室、バー、スキー乾燥室、大浴場、大駐車場、全面暖房

定員 一七〇人

娯楽 マージャン、囲碁、将棋、卓球、その他。

特別料理 ジンギスカン鍋、石狩鍋、三平汁

故宮脇忠敬氏の死を悼む

県水産課主任宮脇忠敬氏は去る八月二十三日午前九時二十二分、水産課で執務中、突然病歿のため急逝されました。氏の生前を思う時まことに果敢とせざるを得ません。ここに本県水産関係者一同とともに慎んで哀悼の意を表します。 合掌

たらし、学校の成績は潜りばなしであった。潜水をおぼえてから七年位になるが、その間は潜水がすべてであった。例えば潜水とは全然関係のない映画をみていて、きれいな湖や海が画面にうつると、いどうなと思つたり、楽しいな海はないかと思つたりした。なぜこんなに潜水にひかれるのであろうか。理由はいくつかある。①潜って海底につき、周囲をみわたした時のシーンとされた音ひとなし、なんともいえない静けさである。この不気味な静けさが私を、ける一つの大きな

Z-3型 待望の魚探機誕生

皆機の大漁を御約束する 小型から中型までの万能魚探 MODEL-Z-3 二周波魚探も出来

海上電機株式会社

本社 神戸市東灘区 電話 294-7811

船舶主機用3-1200馬力船舶補機用3.5-1200馬力

底曳漁業の省力化に たくましい力を

ヤンマーディーゼル

3ME15形(15馬力) 3M15形(15馬力) 2ES15形(15馬力)

ヤンマーディーゼル株式会社

本社:大阪府北区東淀町6-2 電話:530 支店:札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・高松・広島・福岡

養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチヨッパーで

養魚用ミートチヨッパー/62から/72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場 株式会社 平賀工作所 神戸市長田区水笠通3丁目8 TEL代表神戸(078)62-1527